

Go!Go! フロンティア



《フロンティア3つの本気》

1. 本気でやれば、大抵のことは出来る
2. 本気でやれば、何でも面白い
3. 本気でやれば、誰かが助けてくれる

株式会社 富士電機フロンティア
 (富士電機株式会社特例子会社)
 神奈川県川崎市田辺新田1番1号
 電話044-329-2380 FAX044-329-2381
 発行責任者：西村 平和
<http://www.fujielectric.co.jp/frontier/>

創刊号発行に寄せて

一人ひとりが主役で
仲間の輪を広げよう

わたしたち富士電機フロンティアは、平成6年3月に川崎事業所で産声をあげて今年で18年目を迎えています。みなさんの献身的な努力で会社も大きくなり社員も次第に増えてきました。それぞれに創立の時期は違いますが、現在では川崎、東京、三重、吹上、大崎の5つの事業拠点で24名のスタッフに支えられて、73名の仲間が共に働いています。

それぞれの事業所の置かれた状況の違いを理解し合い、お互いの良さを生かし、色々なことに挑戦して、組織も個々人も成長し続けていることが富士電機フロンティアの運営の特徴だと思っています。

職場や仕事の内容が違って、『フロンティア3つの本気』の下に、一人ひとりが自らの目標を持ち、新しい仕事へも挑戦し、懸命に努力している姿は全社に共通しています。そして、それぞれが自らの能力を発揮し、お互いに支え合い、仲間意識を大切に行っていることも富士電機フロンティアならではの強みです。

一方で、それぞれの事業所ごと、色んな親睦行事や研修旅行などを通して、職場では身に

付けることのできなかつたことを体験し、多くの思い出をつくり、より良い人間関係も育まれつつあります。さらに、仕事を離れた趣味やスポーツの分野で活躍している仲間も沢山います。

そんな個性豊かなみなさんに積極的に登場していただき、事業所の枠を超えて交流し、お互いの理解をより深め合うとともに、働くことの喜びを共に分かち合い、自立に向けた頑張りを応援し合える仲間になりたいと思います。そのための手段の一つとして、今回からみんなの機関紙「Go!Go!フロンティア」を発行することにしました。この機関紙が架け橋となり、一人ひとりが主役で、仲間の輪が大きくなっていくことを願っています。

平成23年6月21日
社長 林 傳一



東京事業所の創立10周年記念式典でスピーチする林社長

フロンティア これまでの歩み

Go!Go!フロンティアが発行されることを大変嬉しく思っています。

当社も今年で18年目を迎え、事業所間の生の声を聞きたいと思っていました。指導員会議で検討していただき、東京事業所で発行されていたGo!Go!フロンティアを社内報として発行してもらうことにしました。皆さんの生き生きとした活動が寄せられることを楽しみにしています。

フロンティアの歩みについてこの場をかりて振り返ってみたいと思います。

当社は、平成6年3月に、ハンディを持っていても働く意欲と健康な身体を持った人が、健常者と共に働ける場を提供しようとの強い思いから、会社と労働組合が協力して川崎工場内に設立されました。設立時はスタッフ5名、社員10名で、仕事は清掃・メール・製本・製造支援を主体にスタートしました。特例子会社としては全国で54番目、神奈川県でも3番目と早く、その運営に当たっては相談する所や手本もなく苦労の連続であったようです。

当時の社員で今でも働いていただいているのは、スタッフでは金田豊子さん、社員では小井隆雄君と井上幸正君(現大崎)の

3名のみとなりました。この3名には改めて当時の苦労話を聞いてみたいと思いますが、こうした先輩諸氏の努力を引き継ぎ、平成13年度に東京、平成17年度に三重、平成19年度に吹上と大崎の各拠点が設立され、現在では4事業所1分室、社員数93名、売上高7億円弱の大きな会社に成長してきました。



ひまわりのように
上を向いて生きて欲しい

既に障害者雇用の特例子会社としてそれぞれの地域にしっかりと根をおろし、その期待も大きくなっています。現在、更なる雇用の拡大をめざして新たな拠点づくりに向けて親会社と共に準備中ですが、フロンティアが今後も発展し続けていくには、社員の一人ひとりが「4つの行動規範」を守り新しい仕事に挑戦し、より大きな会社にしていくことが必要だと思います。みんなで力を合わせて、明るく、楽しく、やりがいのある会社に育てていきましょう。

(業務部長 西村 平和)

事業所 ピックアップ

【吹上事業所】 平成23年度 新入社員歓迎会

4月1日、毎年恒例の新入社員歓迎昼食会を事業所会議室にて開催しました。
当事業所ではロケーションが部品組立グループとメールGrは離れており、仕事中は顔を合わせることがなく、昼食会では和気あいあいと楽しい一時を過ごしたようでした。

また、5月10日には林社長の吹上来訪に合わせ中国料理店『恵玉(けいぎょく)』にて坂之上さんと人事総務部の佐藤さんの歓迎会も開催しました。
その日はオレンジジュースのオーダーが集中し売切れになり、お店の方もびっくりしていました。



それぞれに好きな物を注文しなかには一品料理を数皿食べ、さらに炒飯とラーメンを追加、皆の食べっぷりには完敗です。

【川崎事業所 大崎分室】 3・11その時大崎では・・・

まず、東日本地震により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

3月11日金曜日14時46分、グラと本社ビルが真横に大きく動きました。16階メール室には指導員、メールGr等10名がいました。発生と同時に左右に大きく揺れ、そのたびにギューギーと不気味な音。長い周期で何回も何回も押し寄せ、船酔い状態でも気分が悪くなりトイレに駆け込む者、机の下に入る者、机の引き出しを押さえる者、イスに座ったまま状況を見る者、窓から見える隣のビルも大きく揺れて今にも倒れそう。

幸いなことに目立った被害はありませんでしたが大きな余震は長く続き、仕事は中止、交通機関は全て停止。安全を考え全員メール室に泊まることにしましたが、それでも家に帰りたいと涙ぐむ者も。

5月27日、大崎地区で防災訓練が実施されました。フロンティアではメールGrの新橋君が一人参加、起震車によるM7の体験、煙体験、消火器の使用体験、電話を使つての通信体験を受けました。必ず来る地震、改めて地

震に対する備えの必要性を痛感いたしました。



16階で身動き取れず身を寄せ合つての就寝

【川崎事業所】 グループ旅行

川崎事業所から、社員が企画を全て自分たちで行つていくグループ旅行を紹介します。

約3年前から仕事別に分かれている3つのグループ、清掃グループ(8名)、メールグループ(5名)、製本・現場グループ(5名)で社員だけの一泊旅行を行つています。特徴はスタッフが一切手をださないことです。自分たちで毎月金額を決めて労金に積み立てをしています。

又、旅行のための旅行リーダーを決めて、行く場所、集合時間、乗り物、切符の手配等々を昼休みや就業後の時間を使って会議を開いて決めていきます。その場でグループ員の希望、意見を聞いて計画を立て旅行の計画表を作っています。旅行リーダーは

一年交代で、切符の予約や積立金の預金などもグループ員で分担して進めています。
これまではスタッフがいちいちと面倒をみていましたが、社員自らが旅行の立案、計画をすることで行くまでの過程もワイワイ、ガヤガヤと楽しんでいる様子です。
これからも事故がないように続けて欲しいとスタッフ一同陰から応援しています。



仕事も遊びも充実!

【東京事業所】 『さわやかあいさつ運動』参加

平成21年度より富士電機の全社運動として『eスマイル!運動』が展開されています。

地区内でも総務部を中心に『さわやかあいさつ運動』というものが展開されており、東京事業所の社員も総務部の皆さんと共に、朝の門立ち挨拶に参加させていただきました。
元気に大きな声を出し、出勤してくる大勢の社員さんを迎え

スッキリした!気合が入った!楽しい気分になった!この運動をする事で、挨拶をする人が増えればいいなあ!等々の感想がありました。



楽しい気持ちで挨拶

アスリート森田、世界へ!

東京事業所の森田さんが第13回スペシャルオリンピック夏季世界大会(アテネ)に硬式テニス日本代表で出場します。

参加アスリートは52名、派遣期間は6月18日~7月6日。スペシャルオリンピックは、知的障害のある人たちに日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を提供し、社会参加を応援している国際的なスポーツ組織です。夏季冬季ともに4年に1回開催され、今大会も185カ国、7500人のアスリート達が参加します。



日本からの応援
宜しくお願いします

見て！来て！ 私の職場

【三重事業所】

三重事業所は自動販売機に使用される部品の組立作業を中心に業務を行っています。平成23年3月現在で全25種類の作業があり、社員14名、指導員3名、計17名で業務を遂行しています。

平成22年度は新規に9種類の部品加工作業を自社に取り込むことができ、繁閑差はあるものの一定の仕量と損益を確保することができました。

これは社員1人1人が頑張ってきた結果だと思えます。その他教育の一環として昨年度は作

【川崎事業所】

川崎事業所が設立されてから今年で18年目を迎えました。現在、社員が18名、スタッフが4名、計22名のメンバーで業務を行っています。

川崎事業所の大きな目標は、雇用理念の中にもうたわれておりますが「職業人として、社会人として自立を成し遂げるよう恩恵的な関わりをせずに厳しく育成する」まさに「社員の自立」を目指し、社員、スタッフ一同、日々、取り組んでいます。

施設へ出かけ、農作業見学と普段味わうことのできない土の感触などを体験することができました。また見学後には一般就労を目指している方々との交流会を行い、一般就労の先輩として将来の夢を語るなどよい経験ができました。



三重事業所のメンバー

平成23年度が既に始まっていますが、三重事業所は物量が落ちている上期にさまざまな教育訓練を実施する計画としております。ここ最近の傾向として仕事の種類を増やして仕量を確保しているのが現状です。種類が増えれば1人が受け持つ作業も当然増えてきます。それに対応していけるよう1人1人がひとつでも多くの作業をできるようにするための訓練を開始しています。

訓練は直接作業だけでなく運搬など付帯作業についても同様に進めており、少しずつではありますが成果も始めています。その他今年度は新たな試みとしてFRS製造部門と同じ時間帯による変形労働に挑戦します。昨日より今日、一歩でも前に進めるよう日々努力あるのみです。

【吹上事業所】

吹上事業所は、平成19年社員2名、指導員1名からスタートして今年度設立5周年を迎えることとなりました。現在は、社員8名、指導員4名の所帯となっております。業務は吹上の主力製品である電磁閉器の部品加工を担当する製造Grと社内外のメール集配業務を担当するメールGrの2本柱で成り立つ事業所です。

私たちは「次工程はお客様」を合言葉に、集中力と持続力をもって毎日の作業に取り組んでいます。



吹上事業所のメンバー

画となってまいります。5周年の節目として、従業員と関係者によるささやかな記念行事を実施する計画です。

平成19年設立以来4年間、吹上事業所のためにご尽力いただいた人事総務の土井賢二さんが4月1日付けで本社へ異動となり、後任として人事総務の佐藤亮佑さんにご協力をいただいております。

【東京事業所】

東京事業所は川崎事業所より7年後の平成13年4月1日に設立し、今年11年目を迎えました。設立当初は社員2名、指導員3名から出発しましたが少しずつ受託業務を広げ、4月に新入社員を1名を採用し、現在は目標としていた社員20名指導員8名の総勢28名と拡大してきました。東京事業所は、常にお互いを尊重し、チームワークとフットワークを大切にしています。これからの新しい10年は地区で働く社員の方々から今まで以上に「ありがとう」の言葉をもらえるように社員一丸となって頑張っていきたいと思えます。

今年度は事業所設立5年目となる中で、指導員高齢化対策として6月1日付けで、新たに根岸指導員を迎えて体制強化を図ることができました。7月から来年度の採用に向けて実習者の受入れをスタートします。今年の実習者は3年生1名と2年生2名の計3名を受け入れる計

東京事業所の平成22年度決算は業務委託費の見直し要求等があり、売上、営業損益とも予算計画には達しませんでした。その様な厳しい中で、5月からは能力開発センターの食堂フロア



川崎事業所のメンバー

男性21名、女性1名と、少々華やかさに欠けてはおりますが、1人の存在が2人分、3人分と、全員が存在感のある人達の集まりで、毎日、わいわい・がやがやと賑やかな日々を過ごし、仕事は厳しく、遊びは楽しく、この繰り返しの中でひとりひとりが自立に向け、自分の立てた目標を達成するために努力を重ねています。

ひとりでも多くの社員を増やせるよう業務の拡大に努め、社員はひとつでも多くの作業を任せてもらえるようにして行きます。

の清掃、6月からは製造部門から4種類の仕事を受託し、日常業務の空いた時間を利用して作業しています。

社員にとっては今まで経験した事の無い仕事のため、初めは戸惑いもありましたが、短期間で仕事を吸収してくれ、今後の職域拡大につながる一歩だったと確信できました。

今年度は中期計画の2年目になります。事業所としては、仕事やGr活動を通し、Grのリーダー制を採用しました。『指導員スタップに頼らず社員達だけで解決していける体制』を目標に、積極的に推進して行きたいと思っています。

【川崎事業所 大崎分室】

大崎分室はH21年4月1日の発足で、仕事は旧FISからの引継ぎでメール業務をメインにH19年2月から立上げ準備を進め、当初のメール要員2名から現状では6名で運用するに至っております。

又、業務拡大として自動給茶機メンテナンス業務の取り込み、直近では清掃業務も含めH23年4月現在で総勢社員12名、スタップ4名で運用するに至っております。

メール業務は富士電機本社としてのセンター機能を有するため、その取扱量は他地区に類を見ない数に上っております。

給茶部門では自動給茶機27台、カップコーヒーベンダー21台、天然水ウォーターサーバー18台



大崎分室のメンバー

の運用を4名で行っております。そして昨年度から清掃業務にも取り組み開始。2名の社員でスタップし、実習期間を設定しつつ更なる業務拡大を計画中であります。

メール業務では恒久の課題とも言うべき「誤配」の削減と考慮しております。事例直後対応処置、日々の反省ノート等を通しての指導と、朝礼等を通じた社員全員への啓蒙に注力しております。これは継続を力として今後も粘り強い取組みを行います。

又、給茶メンテナンス部門では「より上質なサービスの提供」、清掃Grでは「業務拡大」をメインに取り組んでまいります。その他、スポット業務取込みにも注力し、新たなベース業務へと繋げ、売上げ拡大を目指します。

大崎分室では、各Gr間の相互協力体制作りもひとつの課題と捉えております。部分的に展開中の業務もありますが、更なる強化に向けて、様々な創意工夫のもと進めてまいります。



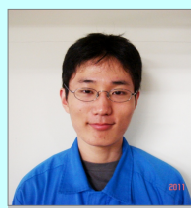
三重事業所

- ①鳥田 泰志 (しまだ たいし)
- ②特技は水泳。趣味は読書、映画をみること。
- ③仕事を続けることが出来ると思えました。先輩達が優しくしてくれました。
- ④1つ1つ仕事を覚えて頑張る。
- ⑤丈夫で真面目です。
- ⑥入社して間もない頃は不安があるかもしれませんが、慣れるまでの戦いです。頑張りますよ！(K. K)



大崎分室

- ①川口 善滉 (かわぐち よしあき)
- ②読書/テレビ観賞
- ③メールの仕事が自分に向いていると思ったからです。
- ④一生懸命仕事してお金を貯め1人で生活出来るよう頑張ります。
- ⑤漢検2級を持っています。
- ⑥何か持っているとは思いましたが漢検2級は凄いです。これからお互い頑張りますよ。(井上)



川崎事業所

- ①清水 敦史 (しみず あつし)
- ②囲碁
- ③何度か実習をさせていただき、とても職場に馴染め、楽しく仕事実習ができたからです。
- ④メールのスペシャリストになること。
- ⑤字を小さく書けること。
- ⑥早く先輩達と仲良くなって楽しい社会生活を送って欲しいです。(メールGrリーダー 黒井)

キラキラ★こころのメンバーズ

- ①名前
- ②趣味・特技
- ③入社した動機
- ④社会人としての抱負
- ⑤自己アピール
- ⑥先輩社員からの激励の言葉

編集後記

2月のスタッフ会議で『Go!Go!フロンティア』を全フロンティア版にする！と宣言はしたものの、東日本大震災で一時気合が薄れてしまい、第1回編集会議を開いたのは何と5月の下旬。それから編集員一同奮起し何とか創刊号の発行にこぎつけました。

この『Go!Go!フロンティア』を通じて事業所間の交流が深まれば嬉しいです。そしてこれからも社員一人ひとりが主役となれる機関紙を目指し、継続して行きたいと思えます。

《Go!Go!フロンティア編集局》
 東京) 渡辺・長谷川
 大崎) 岩間 川崎) 野中
 吹上) 福島 三重) 永井



東京事業所

- ①小林 裕也 (こばやし ゆうや)
- ②バスケットボール/ゲーム
- ③清掃の仕事をもっと続けたいから。
- ④仕事に責任を持ち、先輩達とコミュニケーションをとり、社会人として人間として大きくなりたいです。
- ⑤清掃検定Ⅱ級を持っています。
- ⑥大変なことがあると思いますが、指導員や先輩に気軽に声をかけてみてください。(武田)



吹上事業所

- ①坂之上 里沙 (さかのうえ りさ)
- ②お菓子作り/音楽を聴くこと/歌を歌うこと
- ③細かい作業が好きで、自分に向いていると思えました。
- ④自分の健康管理をしっかりする。仕事に集中する。
- ⑤これから宜しくお願いします。
- ⑥製造Grメンバーとして集中力と向上心を持ち作業に取り組むことを期待しています。